

平成20年度食品試験検査の実施結果について

県では、平成20年4月から平成21年3月にかけて、県内に流通する食品の安全確保を図るため、以下のとおり食品の試験検査を実施しました。

なお、検査の結果不適となった食品については、必要に応じ関係機関と連携し、流通から排除するとともに、再発防止のために生産者や輸入者等の指導を図りました。

1 県内産農産物の残留農薬検査

(検査実施機関：(財)茨城県薬剤師会公衆衛生検査センター)

県内で生産された23種類70検体の農産物を卸売市場などから収去し、106項目の農薬について試験検査を実施した結果、大葉2検体から残留基準値を超える農薬が検出されました。

【検査結果】

検査対象農産物	不適検体数	備考
70検体(23種類)	2検体	検査対象農薬：106項目

不適となった2検体は以下のとおり。

大葉1： イプロジオン 42ppm検出 (基準値20ppm)

大葉2： ホスチアゼート 0.25ppm検出 (基準値0.1ppm)

(検査対象農産物とその検体数の内訳)

ニンジン4、メロン4、トマト4、ピーマン2、大葉2、トウモロコシ4、キュウリ4、なす4、スイカ4、カボチャ2、ネギ2、なし4、玄米2、レタス4、キャベツ4、ブロッコリー2、かんしょ2、はくさい4、だいこん2、ハウレン草4、春菊2、水菜2、いちご2

2 県外産農産物の残留農薬検査

(検査実施機関：茨城県衛生研究所)

県外で生産された農産物6種類20検体をスーパー等から収去し、120項目の農薬について試験検査を実施した結果、不適となったものはありませんでした。

【検査結果】

検査対象農産物	不適検体数	備考
20検体(6種類)	0	検査対象農薬：120項目

(検査対象農産物とその検体数の内訳)

キュウリ4(福島県産)、キャベツ4(北海道・群馬県産)、ニンジン4(北海道産)

レタス3(長野県産)、ダイコン3(北海道・岩手県産)、トマト2(北海道・山形県産)

3 輸入野菜の残留農薬検査

(検査実施機関：茨城県衛生研究所)

県内に流通する輸入野菜 11 種類 50 検体をスーパー等から収去し、120 項目の農薬について試験検査を実施した結果、不適となったものはありませんでした。

【検査結果】

検査対象農産物	不適検体数	備考
50 検体 (11 種類)	0	検査対象農薬：120 項目

(検査対象農産物とその検体数の内訳)

ブロッコリー 8 (米国・エクアドル・中国産)、たけのこ 8 (中国産)、アスパラガス 7 (オーストラリア・ペルー産)、パプリカ 7 (韓国・オランダ産)、サトイモ 7 (中国産)、未成熟インゲン 5 (中国・タイ産)、カボチャ 3 (チリ・メキシコ産)、ニンジン 2 (中国産)、カリフラワー 1 (中国産)、ホウレン草 1 (中国産)、未成熟えんどう 1 (中国産)

4 県内産農産物加工品の試験検査

(検査実施機関：茨城県衛生研究所)

県内の漬物製造業者が製造した農産物の漬物 10 検体を収去し、100 項目の農薬について試験検査を実施した結果、不適となったものはありませんでした。

【検査結果】

検査対象食品	検体数	不適検体数	備考
農産物の漬物	10 検体	0	検査対象農薬：100 項目

(検査対象食品の内訳)

白菜の塩漬け 6、キュウリの塩漬け 3、ダイコンの塩漬け 1

5 輸入食品の試験検査

(検査実施機関：茨城県衛生研究所 (理化学検査), 水戸・土浦保健所 (細菌検査))

海外から輸入された、かんきつ類、乾燥果実、ワイン等について細菌検査及び理化学検査を実施した結果、不適となったものはありませんでした。

【検査結果】

食品	かんきつ類	乾燥果実	乾燥かんぴょう	シラップ漬	ワイン	食肉
検査項目	残留農薬	漂白剤	漂白剤	漂白剤	酸化防止剤	抗生物質等
検査検体数	23	8	2	19	22	30
不適検体数	0	0	0	0	0	0

食肉製品	清涼飲料水	冷凍食品	冷凍魚介類	煮豆	合 計
細菌検査	細菌検査	細菌検査	酸化防止剤	漂白剤	
36	10	48	8	6	211
0	0	0	0	0	0

(食品の主な輸入国)

中国、米国、フィリピン、ドイツ、フランス、イタリア、タイ、ベトナムなど

6 畜水産食品中の動物用医薬品試験検査

(検査実施機関：県北・県南・県西食肉衛生検査所)

県内産の牛肉、豚肉、鶏肉等の計303検体について、動物用医薬品の検査を実施した結果、不適となったものはありませんでした。

【検査結果】

検 体	牛 肉	豚 肉	鶏 肉	鶏 卵	鴨肉	はちみつ	計
検査検体数	60	119	70	43	1	10	303
不適検体数	0	0	0	0	0	0	0

(検査項目)

動物用医薬品(抗生物質、合成抗菌剤、内寄生虫用剤)

7 遺伝子組換え食品の試験検査

(検査実施機関：衛生研究所)

県内の食品製造業者から、大豆加工食品の原料大豆を計10検体収去し、遺伝子組換え大豆に係る検査を実施した結果、いずれも遺伝子組み換え大豆でないことが確認され、その大豆を原料とした加工食品の原料大豆に係る表示が、全て適正であることが確認されました。

【検査結果】

検査対象	検体数	表示不適検体数	検査項目
大豆加工食品の原料大豆	10	0	遺伝子組み換え大豆 (ラウンドアップレディ大豆)

8 卵及びその加工品の試験検査

(検査実施機関：水戸・土浦保健所)

鶏卵、液卵及び卵加工品（厚焼玉子等）計 237 検体について、サルモネラ属菌、一般細菌数等の細菌検査を実施した結果、卵加工品の 2 検体が不適となりました。

【検査結果】

検査対象	検体数	不適検体数	検査項目
鶏卵	81	0	生菌数、サルモネラ属菌、大腸菌群
液卵	80	0	生菌数、サルモネラ属菌、大腸菌群
卵加工品	76	2	生菌数、サルモネラ属菌、大腸菌
計	237	2	

厚焼玉子から卵加工品の基準値（「液卵の製造等に係る衛生確保について」（厚生労働省通知））を超えて生菌数が検出された。

9 生食用等食肉の試験検査

(検査実施機関：水戸・土浦保健所)

食肉及び食肉加工品の計 119 検体について、カンピロバクター、サルモネラ属菌等の食中毒起因菌による汚染状況の検査を実施した結果、鶏肉 21 検体からカンピロバクター属菌、15 検体からサルモネラ属菌が検出されました。

【検査結果】

		検体数	検出数(検出率)		
			カンピロバクター属菌	サルモネラ属菌	腸管出血性大腸菌 (O157およびO26)
鶏肉等	生食用	1	1 (100%)	0	
	加熱用	52	20 (38.5%)	15 (28.8%)	
	加熱調理済品	0	0	0	
	小計	53	21 (39.6%)	15 (28.3%)	
牛肉等	生食用	15	0	0	0
	加熱用	41	0	0	0
	加熱調理済品	5	0	0	0
	小計	61	0	0	0
その他(馬肉, 鴨肉, 豚肉)		5	0	0	0
合計		119	21	15	0

10 アレルギー物質食品試験検査

(検査実施機関：衛生研究所，(財)茨城県薬剤師会公衆衛生検査センター)

加工食品63検体について、アレルギー特定原材料である乳、卵、小麦、そば、落花生の含有の有無及び含有している場合の表示の適否を検査したところ、2検体がそれぞれ乳又は小麦が含まれているにもかかわらず、適正な表示がされていなかった。

【検査結果】

検査項目(特定原材料)	検体数	表示不適検体数
乳	23	1
卵	25	0
小麦	5	1
そば	5	0
落花生	5	0
計	63	2

11 魚介類の水銀・PCBの試験検査

(検査実施機関：(財)茨城県薬剤師会公衆衛生検査センター)

県内で採取される魚介類26検体について、環境汚染物質である水銀及びPCBによる汚染の有無の検査を実施した結果、厚生労働省が定める暫定基準値を超えるものはありませんでした。

【検査結果】

種類	検体数	不適検体数	検査項目
淡水魚介類	8	0	水銀、PCB
近海魚介類	18	0	水銀、PCB
計	26	0	

(検査対象魚介類の内訳)

・淡水魚介類(採取：霞ヶ浦、北浦、涸沼)

ワカサギ、ハゼ、シジミ、シラウオ

・近海魚介類(採取：平潟沖、久慈沖、那珂湊沖、鹿島灘沖)

イワシ、サバ、ヒラメ、カレイ、アナゴ、タイ、スズキ、ホウボウ、ハマグリ、イカ

12 給食施設衛生管理検証事業

(検査実施機関：水戸・土浦保健所)

学校、病院及び社会福祉施設等の給食施設について、調理器具等の計1,039検体について、大腸菌群及び一般細菌数の検査を実施した結果、56検体が不適となりました。

【検査結果】

対象施設	施設数	検体数	不適検体数	検査項目
給食センター	16	136	7	大腸菌群、一般細菌数
学校給食(単独校)	31	226	15	大腸菌群、一般細菌数
幼稚園・保育所給食	41	386	13	大腸菌群、一般細菌数
社会福祉施設・病院	32	291	21	大腸菌群、一般細菌数
計	120	1,039	56	

13 輸入加工食品の残留農薬試験検査(安全確保緊急対策事業)

(検査実施機関：衛生研究所)

県内に流通する輸入加工食品の計200検体について収去し、有機リン系農薬について検査した結果、不適となったものはありませんでした。

【検査結果】

検査対象	冷凍食品	缶詰食品	漬物	野菜水煮	乾麺	その他	計
検査検体数	78	43	16	17	11	35	200
不適検体数	0	0	0	0	0	0	0

その他として、魚介類加工品、茶葉、清涼飲料水、乾燥しいたけ、カット野菜、ジャム、そうざい半製品等を検査した。

(主な輸入先とその検体数)

中国116、タイ37、アメリカ9、台湾8、ニュージーランド7、ベトナム5など

(検査項目)

有機リン系農薬29成分(メタミドホス、ジクロルポスなど)

直ちに人の健康に影響を及ぼす量の有無について検査